

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	31	地域資源との協働場面は少しずつ増えているが、協働場面の継続と、今まで以上に増やし地域との密接なかかわりを増やしていくことが課題	・地域交流の継続と地域資源との協働場面が増える	①積極的な地域行事への参加 ②認知症カフェへの参加(カフェ内での地域の方との交流) ③地域で活用できるサービスの情報収集と活用 ④外出する機会を増やし地域の方との挨拶や会話など継続する ⑤広報誌を定期的に発行し、地域の方、行政などに回覧・配布しホームのことを知って頂く。ホームのイベント情報も掲載しお誘いする	12ヶ月
2	25	ご本人の思いをくみ取りながら適切なケアを継続し、安らげる場にしていくことが課題	・ご利用者一人ひとりの背景を知り、その方らしい適切な個別支援ができる ・認知症の理解ができ、ご本人が納得できる言葉かけができる	①ご本人の話を聞き、思いを把握し個々に合わせた対応方法を話し合い実践する ②ご本人、ご家族から自宅での生活風景や幼少期の頃など細かく聞き個人の生活史を把握しケアの基盤にする ③個人の希望に合わせた外出支援(散歩なども含む)を行う ④ホーム内でできる活動を充実する ⑤ご本人の意向を聞き馴染みのある場所や買物など個別に外出する機会を増やす ⑥ご利用者の近くに行き、やさしく、ゆっくりと目線を合わせ、敬意のこもった声掛けを行う	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。